

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 WOWOW

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 晃

問合せ先責任者 (役職名) IR経理局長

(氏名) 尾上 純一

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	56,041	4.4	7,116	△14.1	7,419	△15.3	4,955	△12.5
27年3月期第3四半期	53,672	2.3	8,283	29.5	8,755	30.8	5,665	36.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 4,712百万円 (△21.4%) 27年3月期第3四半期 5,999百万円 (27.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	183.58	—
27年3月期第3四半期	209.89	—

(注) 当社は平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度(平成27年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	61,930	43,412	70.1
27年3月期	62,991	40,430	64.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 43,412百万円 27年3月期 40,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成27年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,900	3.1	9,000	△7.8	9,400	△9.4	6,300	△4.8	233.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	28,844,400 株	27年3月期	28,844,400 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,853,130 株	27年3月期	1,852,984 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	26,991,285 株	27年3月期3Q	26,991,516 株

(注) 当社は平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度(平成27年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」及び3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成28年1月29日(金)に機関投資家向けの決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10
(2) 四半期個別業績情報(参考)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により企業収益や雇用・所得環境が徐々に改善され、国内景気は穏やかな回復基調で推移しましたが、円安等を原因とした物価の上昇や消費税増税の消費活動への影響の長期化等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、累計正味加入件数の増加に伴い有料放送収入が前年同期に比べ増加したこと等により、売上高は560億41百万円と前年同期に比べ23億68百万円(4.4%)の増収となりました。営業利益は番組等に戦略的な費用投下を行ったことにより営業費用が増加したため、71億16百万円と前年同期に比べ11億66百万円(△14.1%)の減益、経常利益は74億19百万円と前年同期に比べ13億36百万円(△15.3%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億55百万円と前年同期に比べ7億10百万円(△12.5%)の減益となりました。

当社グループは、放送衛星を使った放送事業に係るサービスを行う「放送」、放送事業に係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。各セグメントの状況は次のとおりです。

<放送>

当第3四半期連結累計期間におきましては、映画、ドラマ、スポーツ、音楽の主要4ジャンルにおける「線(シリーズ化)」と「塊(特集化)」をさらに強化することで、新規加入獲得や解約防止に努めました。

映画では、第1弾から第3弾までお届けした「WOWOWディズニー・スペシャル」の第1弾「『アナと雪の女王』がやってくる!」が加入獲得に貢献しました。

ドラマでは、オリジナルドラマの「連続ドラマW しんがり～山一證券 最後の聖戦～」が好評を得ました。

音楽では、福山雅治、矢沢永吉、V6等ビッグアーティストのライブが、スポーツでは、5月のエキサイトマッチスペシャル「マニー・パッキョオvsフロイド・メイウェザー」や、「全仏オープンテニス」から「インターナショナル・プレミア・テニスリーグ IPTL」へと続いたテニスが新規加入を牽引しました。

映画製作では、WOWOW FILMS「予告犯」、「愛を積む人」、「岸辺の旅」、「劇場版 MOZU」を公開しました。「劇場版 MOZU」は、興業収入が13億円を超えるヒットとなりました。

また、5月から加入者限定無料番組配信サービスである「WOWOWメンバーズオンデマンド」をはじめとするWOWOWのWebサービスをよりお楽しみいただくため、iPadをレンタルでご利用いただけるサービスを開始しました。11月28日には、今年で4回目となるイベント「TOUCH! WOWOW2015」を開催し、360°パノラマ映像の生配信等、付加価値の高いコンテンツの提供に挑戦しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における放送セグメントの売上高は541億円と前年同期に比べ24億61百万円(4.8%)の増収、セグメント利益は69億49百万円と前年同期に比べ11億85百万円(△14.6%)の減益となりました。

当第3四半期連結累計期間の新規加入件数等は次表のとおりとなりました。複数契約(注)は、当第3四半期末時点において421,608件(前年同期末に比べ12,323件の増加)となっております。

(注) 当社は同一契約者による2契約目と3契約目につき月額2,484円(税込み)の視聴料金を972円(税込み)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	累計正味加入件数
加入及び解約件数 (対前年同期増減率)	469,182 (△12.9%)	387,442 (△5.9%)	81,740 (△35.5%)	2,838,070 (2.3%)

<テレマーケティング>

連結子会社の株WOWOWコミュニケーションズにおいて、テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営等を行っております。デジタル関連サービスやデータ分析業務の展開により新規外部顧客からの受注獲得を目指しましたが、既存顧客からの受注減を補うには至らず、外部顧客への売上高は減少しました。一方でセグメント間の内部売上が増加したため、当第3四半期連結累計期間におけるテレマーケティングセグメントの売上高は、48億16百万円と前年同期に比べ1億36百万円(2.9%)の増収となり、セグメント利益は1億66百万円と前年同期に比べ15百万円(10.2%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は619億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億61百万円の減少となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金が減少したことによるものです。

(負債)

負債は185億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億42百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債で買掛金及び未払法人税等が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は434億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億81百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ5.9ポイント上昇し、70.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27(2015)年10月30日に公表した連結業績予想の修正は行っておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第3四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店等に関わるリスク
- ③ B S (放送衛星) 利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ B-CASカードのセキュリティに関わるリスク
- ⑥ コンテンツに関わるリスク
- ⑦ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑧ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑨ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑩ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑪ 為替レートの変動に関するリスク

各リスク項目の詳細につきましては、平成27年3月期決算短信(平成27年5月15日提出)添付資料4ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ウェブサイト(IR資料室))

http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/ref/

(東京証券取引所ウェブサイト(上場会社情報検索ページ))

<http://www.jpx.co.jp/listing/co-search/01.html>

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、前連結会計年度末に非連結子会社であったWOWOWエンタテインメント㈱は、平成27(2015)年6月24日提出の第31期有価証券報告書に記載のとおり、当社グループにおける重要性が増したため、当連結会計年度の期首より、新たに連結範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,915	17,153
売掛金	4,299	4,269
商品及び製品	—	113
番組勘定	14,154	14,211
貯蔵品	72	51
繰延税金資産	1,009	907
その他	1,740	1,561
貸倒引当金	△150	△118
流動資産合計	39,041	38,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,450	2,338
機械及び装置（純額）	4,967	4,798
工具、器具及び備品（純額）	872	1,004
有形固定資産合計	8,290	8,141
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
その他	1,727	2,022
無形固定資産合計	6,739	7,033
投資その他の資産		
投資有価証券	7,680	7,622
繰延税金資産	29	30
その他	1,303	974
貸倒引当金	△92	△22
投資その他の資産合計	8,920	8,605
固定資産合計	23,950	23,780
資産合計	62,991	61,930

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,551	11,132
未払法人税等	2,528	514
賞与引当金	57	33
その他	5,626	5,013
流動負債合計	20,765	16,694
固定負債		
退職給付に係る負債	1,508	1,573
その他	287	250
固定負債合計	1,795	1,824
負債合計	22,561	18,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	34,652	37,877
自己株式	△3,080	△3,081
株主資本合計	39,310	42,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	646	689
繰延ヘッジ損益	473	188
その他の包括利益累計額合計	1,120	877
純資産合計	40,430	43,412
負債純資産合計	62,991	61,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	53,672	56,041
売上原価	26,282	29,873
売上総利益	27,390	26,167
販売費及び一般管理費	19,106	19,051
営業利益	8,283	7,116
営業外収益		
受取利息	2	4
為替差益	128	49
持分法による投資利益	287	184
その他	56	68
営業外収益合計	474	307
営業外費用		
その他	2	5
営業外費用合計	2	5
経常利益	8,755	7,419
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	14	15
ゴルフ会員権評価損	—	8
特別損失合計	14	23
税金等調整前四半期純利益	8,741	7,395
法人税、住民税及び事業税	3,130	2,242
法人税等調整額	△54	198
法人税等合計	3,076	2,440
四半期純利益	5,665	4,955
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,665	4,955

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	5,665	4,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	42
繰延ヘッジ損益	296	△284
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△0
その他の包括利益合計	333	△242
四半期包括利益	5,999	4,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,999	4,712

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2.
	放送	テレマーケテ ィング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,096	1,945	56,041	—	56,041
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	2,871	2,875	△2,875	—
計	54,100	4,816	58,917	△2,875	56,041
セグメント利益	6,949	166	7,116	—	7,116

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

当第3四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
放送	54,096	104.8
テレマーケティング	1,945	95.6
合計	56,041	104.4

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 放送セグメントには有料放送収入51,949百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報(参考)

① 個別経営成績(累計)・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	53,704	4.0	6,473	△20.4	6,845	△19.7	4,584	△16.6
27年3月期第3四半期	51,638	2.3	8,135	29.7	8,529	29.6	5,496	33.8

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
28年3月期第3四半期	55,990	37,942		
27年3月期	57,163	35,220		

(注) 個別経営成績(累計)・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 平成28年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
28年3月期	71,800	2.7	9,000	△9.3	6,100	△2.6	226.00

- (注) 1. 当四半期における業績予想の修正はありません。
 2. 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。